

2025年1月7日（火）始業式（聖書朝礼）

朗読： ルカによる福音書2章51節

今週の聖句：「神と人と似愛された」

お話：校長先生

全校のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆さんの元気な顔を見ることができ、とても嬉しく思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは今年目標を立てましたか。学校としての今年度の全校目標は、「野の百合のような素朴さを身に付けよう」です。

聖書には、「野の百合がどのように育つのか、考えてごらんさい」とあります。野の百合は、自分を飾り立てることなく、ただあるがままの美しさで咲きます。その姿は、謙虚でありながら力強く、私たちに自然の豊かさや神様の恵みを思い出させてくれます。皆さんも日々の学校生活や家庭生活の中で、素直な心を持ち、ありのままの自分を大切にしながら、努力を重ねてほしいと思います。

また、今日の聖句として、「神と人々に愛された」を選びました。これは、ルカによる福音書の中に書き記されている幼いイエスのことです。

イエスも、時には両親に理解されなかったり、さまざまな経験をしながら成長しました。それでも家族や神様の愛の中で守られ、知恵と体を育んでいきました。

聖書にはこのように書いてあります。「母マリアは、これらのことをすべて心に収めていた。イエスは知恵がまし、背丈も伸び、神と人々に愛された」。（ルカ2章52節）

皆さんも同じです。ご両親や先生方、友達の愛に守られながら日々成長しています。自分の成長を支えてくれている周りの人々や、何より神様の恵みに感謝する心を忘れずに過ごしてください。

特に、高校3年生の受験生のみなさん、受験という大きな山を越えなければならない皆さんは、焦ることもあるかもしれませんが、これまで積み重ねてきた努力を信じ、最後まで粘り強く取り組んでください。私たち全員が、皆さんを応援し、祈っています。

最後に、今年が皆さん一人ひとりにとって幸せな一年となりますように祈ります。困ったことがあれば、いつでも周りの大人や友達に頼ってください。互いに助け合い、支え合う中で、きっと素晴らしい一年になることでしょう。

それでは、新しい年を迎えて、共に目標を持ちながら頑張っていきましょう。皆さんの毎日が豊かで、希望に満ちたものとなりますように。